縦横無尽 タテとヨコ 色とかたちのフィールドワーク の 輪状の織物

<table>
<thead>
<tr>
<th>著者</th>
<th>吉本 忍</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>雑誌名</td>
<td>月刊染織</td>
</tr>
<tr>
<td>巻</td>
<td>44-45</td>
</tr>
<tr>
<td>ページ</td>
<td>2003-08-01</td>
</tr>
<tr>
<td>発行年</td>
<td>なし</td>
</tr>
<tr>
<td>URL</td>
<td><a href="http://hdl.handle.net/10502/5204">http://hdl.handle.net/10502/5204</a></td>
</tr>
</tbody>
</table>
無尽

色とかたち

縦横

タテとヨコのフィールドワーク

輪状の織物

吉本 忍

縦状織物は四角に限らない

織りあがった織物のかたちは、幅や長さが遠ってはいてもすべて四角形であると思われていた。しかし、実体はそうではなかった。織りりあがりの織物のかたちは、必ずしも四角形とは限らないということを知ったのは、先月号でも紹介したように、1970年にインドネシア東部のティモール島に住むトゥンガナン・ブグリシンガ村のタテヨコの織物が紹介された。この島で織られているのは、輪状の織物であった。

このときの輪状織物の出発点がきっかけとなったと、わたしは今も世界各地で織りの調査研究を続けている。そうした中で1987年に、それまでの研究のまとめとして、「手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析只剩うち広く、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析」として、手縫いの構造・機能論的分析只剩うち広く、手縫いの構造・機能論的分析剩
ボンダ人による輸状織物の機織り
（インド、オリッサ州：1979年）

輪状織物の織り方

つなが国の織物（一般に、いざなぎや筒状地と呼ばれる形の織物で、タテ糸を保持することと、上面に張力を加減するための腰帶が掛かっている）を用いた織物のうち、縦糸が引き出し織物の形をとるといわれている。この場合、縦糸は打っ付けで二層に分かれ、縦糸は引き出し織物の布の一部を構成する。縦糸は手元か、あるいは四角である。

世界各地にある輸状織物

ツァトゥュチャラ人による輸状織物の機織り（エキュアドル、ビチンチャ州：2000年）